

11/7 緑岡地区少年の主張発表会で優秀賞を受賞した2名の発表をご紹介します。

### 「自信をもつために」 5年 宇津野 世玲

みなさんは自分に誇れることがありますか。4年生までのぼくは、自分に自信をもって取り組んだり、努力したりすることがあまりありませんでした。でも、5年生になり、友達との関係や日々の生活の中で、自分に自信をもつことがないと不安になったり、弱い自分になってしまったりすることに気付きました。だから、ぼくは、毎日少しずつでも努力しようと決めました。勉強は好きではありませんが、さけては通れない道。「勉強をするのもしないのも自由だけど、後で困るのは自分です」……。その日の授業で分からないことは、自主学习ノートに書いて提出することをまず始めました。……。毎日少しずつ努力することで苦手な教科も好きになって、テストの結果が良かったりすると、今日もまた自主学习をがんばろうと思えるようになりました。……。小さな努力の積み重ねが、少しずつ自分に自信をもつきっかけになり、不安な気持ちや弱い自分を消し去ってくれました。……。もし今ここに、自分に自信がない人がいるならば、毎日少しでも続けられることを見つけてください。勉強でも、運動でも将来につながることをがんばってみてください。きっと強い自分になれるはずです。……。最後に、友達を平気で傷つけたり、意地悪したりしている人は、いつも不安な気持ちでいっぱい、弱い自分を強く見せようと必死なのかもしれません。

※紙面の都合上、……の部分は、一部省略しました。



### 「今、ぼくにできること」 6年 庄司 大雅

サヨナラホームランを打った選手が誇らしげにヒーローインタビューを受けている姿。ゴールを決めた選手が、繰り返し出てくる映像……。注目されるのは、いつも結果を残した主役級の人達だけで、あまり表に出ることがないわき役の人達は、なかなか注目されない現実があると思います。そのためだれもが、主役になろうとしています。はたして、主役ばかりに光を当てている今の世の中の考え方は本当に正しいのでしょうか。……。ぼくは、昨年の夏から友達に誘われて剣道を始めました。……。友達に比べたら、ぼくの試合回数は、数えるほどしかありませんでした。正直言ってぼくは、くやしい気持ちでいっぱいでした。……。しかし、あえてぼくは、考え方を換えようと思いました。それよりも、「今、自分にできることを考えて行動しよう」と考えるようにしたのです。それからぼくは、できる限り大きな声で応援をしたり、自分から進んで道場の雑巾がけをしたりするようになりました。……。そうしているうちに、ぼくのくやしいもやもやとした思いはだんだん消えていきました。……。わき役という立場ですが、確かにチームに貢献しているという実感をもてたからです。……。この体験を通して、はじめにあげた疑問に、自分なりに答えを出すことができました。……。僕たちの周りには普段目立たないのに、一生懸命がんばっている人がたくさんいます。その時、その時に僕ができることを精一杯行い、これからの生き方につなげていきたいと思います。



優良賞を受賞した8名です。

5年 後藤さくら, 鈴木晃太, 大谷天子, 稲垣風香

6年 富田陽紀, 佐久間 遼, 永田友帆, 磯崎はるな

